



猫は室内で飼いましょう

猫にとって家の外は、交通事故、病気、ケガ、妊娠、迷子などの危険がいっぱい입니다。

また、ふん尿や爪とぎなど、飼い主の気づかないところで近隣に迷惑をかけてしまっているかもしれません。

近隣のかたも迷惑に思っているもなかなか言いづらいものです。

猫はなわばりを作り その範囲の中で生活します

室内の環境を整え、飼い主が適切なコミュニケーションを取るように配慮することによって、猫のストレスを軽減することが可能です。また、外の様々な危険から猫を守ることができ、トラブルが起きる可能性も少なくなります。

子猫の時期であれば室内飼いに慣れさせるのは比較的容易です。外飼いや家の内外に行き来できる飼い方をしている成猫の場合、屋外までなわばりが広がっているため、室内飼いに慣れさせることは大きな努力が必要です。しかし、家の中を外よりも充実した環境にする配慮と努力があれば、室内飼いに慣れさせることは不可能ではありません。



猫を室内で飼う場合のポイント

猫の行動範囲はもともと広くはないので、室内になわばりの条件が揃っていれば、猫が満足できる場所になります。

居心地の良い環境にする

新鮮な水（給水器があると便利）・食事・清潔なトイレ（猫の数+1個）・寝場所（くつろげる、隠れられる場所など）を用意する。

ストレスを発散できるようにする

高低差を利用して、猫が自由に遊べるようにする。また、「爪とぎ」「おもちゃ」も十分に用意する。

猫と遊ぶ機会を大切にする

飼い主が猫と一緒に遊ぶことは、猫だけで過ごす場合よりも、質の高い良い刺激になる。

< 猫の「室内飼育用ケージ」をご存知ですか？ >

夜間や飼い主が外出するときに、飼育用ケージの中で過ごさせるなどの使い方をすると役立ちます。

エサを与えるときに毎回飼育用ケージの中で食べさせるようにすると「ご飯はこの場所！」と猫が覚えて、ケージの中にスムーズに入るようになります。

